

平成21年10月14日

各位

上場会社名 株式会社くろがね工作所  
代表者名 取締役社長 神 足 泰 弘  
本社所在地 大阪市西区新町1丁目4番26号  
コード番号 7997  
上場取引所 大阪証券取引所  
決算期 平成21年11月  
問合せ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長  
氏 名 村 田 光 春  
TEL (06)6538-1010

### 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成21年11月期第3四半期において、下記のとおり特別損失が発生することになりました。又、最近の業績動向も踏まえ、平成21年7月29日に公表した平成21年11月期（平成20年12月1日～平成21年11月30日）の連結業績予想、並びに平成21年11月期（平成20年12月1日～平成21年11月30日）の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の発生について

##### (1) 減損損失を認識した資産の概要

| 資産の内容             | 帳簿価格   | 用途    |
|-------------------|--------|-------|
| 土地（三重県津市、京都府八幡市他） | 402百万円 | 工場用地  |
| 建物                | 254百万円 | 工場用建物 |
| その他固定資産           | 56百万円  |       |
| 計                 | 713百万円 |       |

##### (2) 減損損失の認識に至った経緯

平成21年11月期第3四半期において、当社を取り巻く当面の経済環境と収益予想を鑑み、固定資産について合計で7億13百万円の減損損失が発生しました。

#### 2. 平成21年11月期通期業績予想の修正について

##### (1) 平成21年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年12月1日～平成21年11月30日）

（単位：百万円，%）

|                           | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|---------------------------|--------|------|------|--------|----------------|
| 前回発表予想(A)                 | 11,800 | △750 | △790 | △920   | 円 銭<br>△53 98  |
| 今回修正予想(B)                 | 11,400 | △920 | △960 | △1,620 | △95 05         |
| 増減額(B-A)                  | △400   | △170 | △170 | △700   | △41 07         |
| 増減率(%)                    | △3.4   | —    | —    | —      | —              |
| (ご参考) 前年実績<br>(平成20年11月期) | 16,166 | △128 | △180 | △689   | △40 43         |

## (2) 平成21年11月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年12月1日～平成21年11月30日）

(単位：百万円、%)

|                          | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|--------|------|------|--------|----------------|
| 前回発表予想(A)                | 11,300 | △620 | △660 | △790   | 円 銭<br>△46 35  |
| 今回修正予想(B)                | 10,900 | △780 | △820 | △1,480 | △86 83         |
| 増減額(B-A)                 | △400   | △160 | △160 | △690   | △40 48         |
| 増減率(%)                   | △3.5   | —    | —    | —      | —              |
| (ご参考)前年実績<br>(平成20年11月期) | 15,290 | △18  | △55  | △575   | △33 77         |

## (3) 修正の理由

オフィス家具需要に対する環境は、景況感の悪化の影響を受け、極めて厳しい状況下で推移しております。新製品の投入や特注製品への対応など売上高の確保に努めてまいりますが、前回予想を下回る見込みであります。

損益面では、コスト低減や販管費の削減に努めてまいりますが、営業利益、経常利益とも下回る見込みであります。また、特別損失におきまして713百万円の減損損失を計上することになり、通期の当期純利益予想は大幅に下回る見込みであります。

以 上